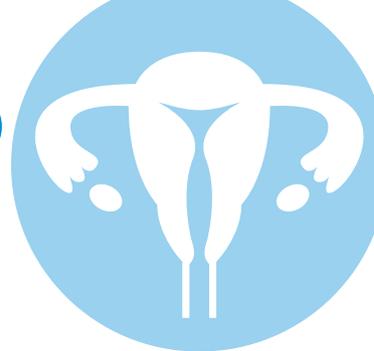


【子宮頸がん検査】(子宮頸部細胞診検査)



以下の方は **検査対象外** となります

- 生理中の方 終了後1週間経過後に採取してください。
- 妊娠中の方
- 現在婦人科でなんらかの治療を受けている方
- 子宮を完全に摘出している方

ご不明な点などございましたら下記までご連絡ください(平日9:00~17:15)

TEL:0120-82-1213(H.U. POCKeT株式会社)



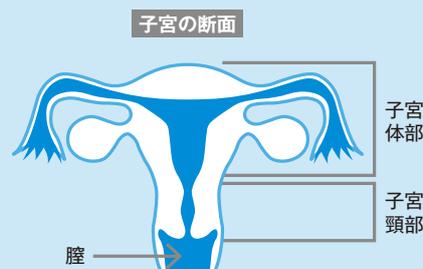
検査ってどんなことをするの？

検体の中の異型細胞(正常ではないかたちの細胞)を顕微鏡で見つけて探します。



子宮頸がん細胞診検査とは

子宮は、子宮の奥にある子宮体部と、膣との境にある子宮頸部に分けられます。子宮がんの大半は子宮頸部に発生し、子宮頸がんと呼ばれます。子宮頸がん細胞診検査は入口付近の子宮頸部の表面をスポンジでこすり取り細胞を採取し、固定、染色し顕微鏡で丁寧に観察して異型細胞を探し出します。



子宮の細胞は月経開始から次の月経まで日々変化しています。

また、閉経や、閉経からの年数、妊娠中、授乳中であるかなどにより細胞が本来の様子(良性細胞形態)と大きく変わります。受けていただく細胞診検査は細胞が本来の形とどの程度ちがうかによって判定します。検査をした時のご本人様の状態を把握させていただくためにも問診票は必ずご記入いただきますようお願いいたします。

子宮頸がん細胞診検査で何がわかるの？

細胞の異型度をみるだけでなく、細菌などの感染による炎症性疾患を見つけることもできます。



検査って大切なんですね！

詳しい検査内容は次のとおりです。

- 〔基準値〕 classⅡ以下
- 〔判定基準〕 classⅢ以上の異型度を陽性とする
- 〔検体〕 子宮頸管自己擦過物
- 〔必要日数〕 約2週間 休日を含む場合、必要日数よりかかる場合があります
- 〔保存〕 室温
- 〔郵送方法〕 郵便、受付票と検体を同封してください

※受付票には、住所、氏名、電話番号、生年月日、年齢、性別、アンケートにお答えください。

検査は株式会社日本医学臨床検査研究所が行います。

